

行動編 「防災マップの作成・改善点を探そう」
 【実習】野外調査と図化作業、グループ討議

野外調査 大地震のときに危険な場所、便利な施設などをチェックしに行きました。



ブロック塀



消火ホース



公衆電話



湧き水

など



1班3～4人。班長、記録、安全管理、タイムキーパーなど1人1役。



チェック項目を見つけたら、その場で地図にシールを貼り、記入します。

図化作業 + 改善点を探そう



学校周辺の新橋区を、各班で分担して調べた結果を合わせています。

↓ 新橋区長さん



地図にまとめた結果、自治会や市が設置している防災施設に偏りがあることがわかりました。この授業には新橋区長さんがゲストで来ていただきました。

行動編 「シンポジウム・防災講座に向けて」 【実習】学習の成果をまとめよう

まとめの様子



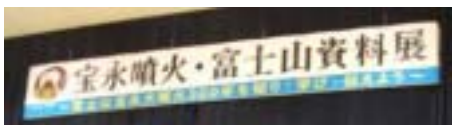
2人1組で1つのテーマを選び、教科書・授業プリント・書籍などを参考に学んだことを模造紙1枚にまとめました。

環富士山火山防災シンポジウムでの展示

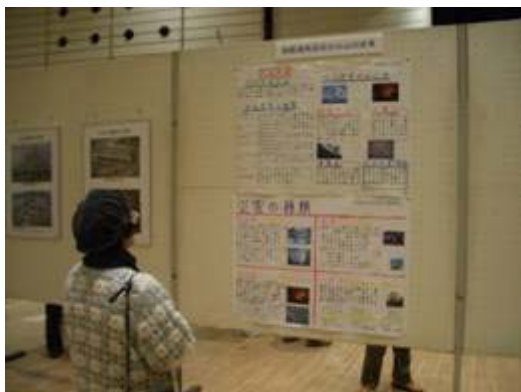


環富士山火山防災シンポジウムの会場に展示され、市職員の方々や来場者の皆様から高い評価をいただきました。

宝永噴火・富士山資料展での展示



や
御



シンポジウムでの展示を見た方御殿場市防災対策室の推薦で、殿場市主催の富士山宝永噴火300年記念行事である「宝永噴火・富士山資料展」でも模造紙が展示されることになりました。

なお、南高防災講座の際にも展示し、参加者の方に見ていただきました。

行動編 「環富士山火山防災シンポジウムへの参加」

学習の成果発表



11月25日に行われた富士山宝永噴火300年記念行事「環富士山火山防災シンポジウム」に地学選択者全員で参加しました。

発表準備の様子



楽屋での様子



当日のPC操作の様子



13名の生徒が発表者に立候補し、素材集めからパワーポイント・発表原稿づくり、当日の発表・パソコン操作まですべてやりました。高校生の持つ能力に驚きました。

発表の様子



「火山とその恵み」「火山噴火と災害、火山の性質」「富士山火山防災マップの読み取りにチャレンジ」の3テーマについて授業の成果を発表しました。

「高校生の視点で参加者の人にわかりやすく伝えてほしい」というリクエストと制限時間の制約の中、会場を巻き込むクイズを出したり、自作の実験ビデオクリップを流したりするなど、数々の工夫をしていました。「富士山火山防災マップの読み取りにチャレンジ」では、読み取り実習で「読みたいのに難しくて読めなかった」経験と「読む人に必要な知識」「自分たちができること」などを関連付けて発表し、富士山のハザードマップのあり方に問題提起をしていました。

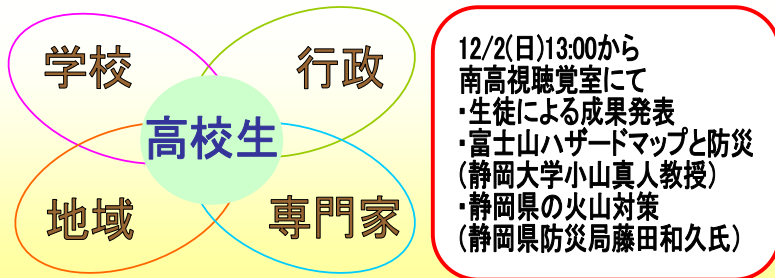
行動編 「南高防災講座の開催」

生徒、地域、行政、専門家の連携

南高防災講座の開講



新橋区自治会、
静岡県防災局、
静岡大学の
ご協力をいただき、
開催することが
できました。



新橋区の方々に加え、
学校評議員、PTA 会長、
後援会長の皆様も参加
して下さいました。

高校生による学習の成果発表



15名の生徒がスタッフに立候補し、講座の準備、学習の成果発表（パワーポイントと演示実験）、ハザードマップ読取実習などを行いました。

ハザードマップ読取実習（講師：小山真人教授）

静岡県の火山対策（講師：藤田和久氏）



参加者の方々と高校生の合同チームで読み取りをしました。地域の方の土地勘と高校生の火山の知識がうまく融合していました。



静岡県防災局の藤田さんが、静岡県の富士山防災の現状と最新の火山情報についてわかりやすく説明して下さいました。

